

小・中学校の部活動の地域移行に向けた取組について

少子化に伴い全国的に児童・生徒数が減少し、将来、学校単位での部活動の維持が困難になることが予想されるとともに、教職員の長時間労働が社会問題となる中、今年6月以降、スポーツ庁や文化庁が設置した「部活動の地域移行に関する検討会議」が提言をまとめるなど、現在、国においては主に中学校の部活動の改革に向けた動きが進行しています。

こうした国の動きを踏まえ、滝川市教育委員会では、各学校や保護者の皆様、関係機関と連携を図りながら、子供たちの持続可能なスポーツ・文化活動が行える環境の構築に向けて、小・中学校の部活動の地域移行に向けた取組を推進してまいりますので、保護者の皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年10月 滝川市教育委員会

スポーツ庁・文化庁「部活動の地域移行に関する検討会議」提言の概要

部活動を取り巻く課題

- 少子化の進展による中学校等の生徒数の大幅な減少
- 休日を含む勤務時間外の部活動の指導や競技経験のない部活動の指導が教師の大きな負担

これまでと同じ形で中学校等の部活動を維持していくことが困難

改革の方向性

- 休日の部活動からの段階的な地域移行
- 令和5年度から3年間で改革集中期間に位置付け、令和7年度末を目標時期に設定
- 平日の部活動の地域移行は、休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- 地域におけるスポーツや文化芸術に親しむ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等
- 地域のスポーツ団体・文化芸術団体等と学校との連携・協働の推進

滝川市教育委員会の取組

滝川市の小・中学校の部活動の現状と課題

小 学 校

- 市内の5つの小学校に部活動が開設
運動部：ミニバスケットボール部、野球部
文化部：器楽部、スクールバンド、合唱部
- 2つの小学校の児童を中心とするサッカー少年団が活動

中 学 校

- 市内の3つの中学校すべてに部活動が開設
運動部：バスケットボール部、野球部、陸上部、ソフトテニス部、卓球部、バレーボール部、バドミントン部、サッカー部
文化部：吹奏楽部、美術部

<課 題>

- 滝川市においては、小学校にも「部活動」が開設されていることから、中学校における部活動の地域移行とともに、小学校においても部活動の地域移行を進めていく必要があります。
- 中学校の部活動の中には、部員数の減少により学校単独ではチームを編制できない集団スポーツが出てきています。

部活動の地域移行に向けた滝川市教育委員会の方針

- ◎小学校の部活動について、中学校に先行して地域移行を進めます。
 - ・市内の小学校においては、学校の実態に応じて、部活動の指導の一部を地域の指導者に依頼するなど、地域移行に向けた取組を段階的に進めている学校があります。
- ◎中学校の休日の部活動について、令和5年度から3年間で目途に地域移行を進めます。
- ◎中学校の平日の部活動については、休日の部活動の地域移行の進捗状況等を踏まえ、段階的に地域移行に取り組めます。
 - ・中学校の休日の部活動と平日の部活動の一体的な地域移行についても選択肢の一つとして検討します。
- ◎各学校や校長会、市P連、学校運営協議会、スポーツ・文化団体等の関係団体との協議の場を設け、将来的な部活動の在り方について検討を進めます。
- ◎児童・生徒の皆さん、保護者や教職員の皆様の意見や要望を踏まえながら、将来にわたってスポーツや文化活動ができる環境整備を進めます。